

広島県におけるカンアオイ属の分布*

青山 幹 男**・須 田 泰 夫**

The distribution of *Heterotropa* in Hiroshima Prefecture*

Mikio Aoyama** and Yasuo Suda**

カンアオイ属は北海道を除く日本の全域に約30種が分布している(大井1978)。このうち広島県にはサンヨウアオイ *Heterotropa hexaloba* (F. Maekawa) F. Maekawa, ミヤコアオイ *H. aspera* (F. Maekawa) F. Maekawa, ミチノクサイシンに類似する種名不詳の種 *H. sp.* の3種が分布している。

日浦(1978)は文献の記録をもとにカンアオイ属各種の分布図を作成した。それによるとサンヨウアオイは瀬戸内海西部を中心とする地域, すなわち中国西部, 四国西部, 九州北部に分布し, ミヤコアオイは関西, 中国の全域と四国東部の一部に分布している。また, ミチノクサイシンは本州北部に分布し, 中国地方には記録されていない。

従来広島県内におけるカンアオイ属の産地の記録は少なかったが, 最近松山・山手(1984)によって

サンヨウアオイとミヤコアオイの分布が報告された。

著者らは広島県内におけるカンアオイ属の産地を調べ, 分布状況を調査したので報告する。

本調査を行うにあたり, 芸北町児玉集氏, 東広島市松島博氏および広島市植物公園職員の方々には産地に関する情報や調査に御協力いただいた。ここに厚く御礼申し上げる。

調査方法

カンアオイ属の開花期に花の内部形態を観察して種を同定し, 3種の分布状況を調べた。開花期以外の時期に採集した株は広島市植物公園で栽培し, 開花させた上で同定した。これらの株は同園で栽培保



Fig. 1. *Heterotropa hexaloba* growing wild in the Hiroshima Botanical Garden.

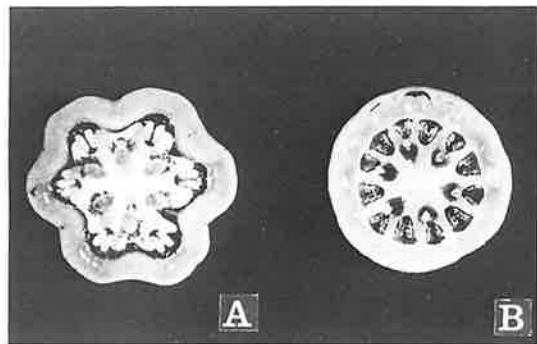


Fig. 2. Cross sections at calyx-tube showing styles and stamens, $\times 2$.
A, *H. hexaloba*. B, *H. aspera*.

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No. 29

** The Hiroshima Botanical Garden

Bulletin of The Hiroshima Botanical Garden, No. 7: 47-50, 1984.



Fig. 3. Tangential section at calyx-tube showing styles and stamens of *H. sp.*, $\times 2$.

存している。

花の形態には種によって次のような違いがあり種の同定の基準とした。サンヨウアオイはがく筒に6本の縦線があり、雄ずい12本のうち6本が退化して仮雄ずいになっている (Fig. 1, Fig. 2A)。ミヤコアオイはがく筒が球形で雄ずい12本が正常な形になっている (Fig. 2B)。種名不詳の種は根茎が伸長し、腎円形の葉をつける。がく筒はくびれず、がく片はがく筒とほとんど平行に開き、花柱はがく筒より長い (Fig. 3)。

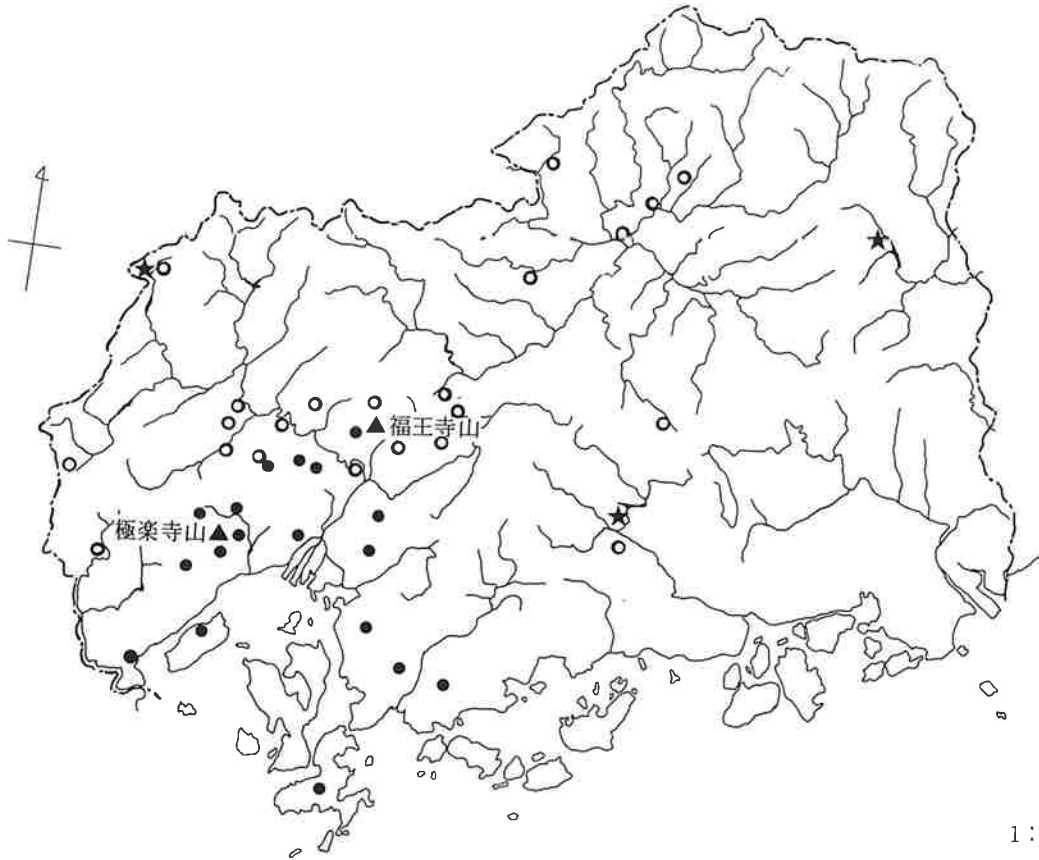


Fig. 4. Distribution map of genus *Heterolropa* in Hiroshima prefecture.

● *H. hexaloba*. ○ *H. aspera*. ★ *H. sp.*

結果と考察

現在までに調べた県内のカンアオイ属 3 種の産地および分布状況は Table 1 および Fig. 4 のとおりである。

自生を確認した場所は川沿いや谷筋、山すそなどの土壤湿度が保たれている所で、アカマツやスギ、ヒノキなどの林床が多い。山頂近くに自生が見られるのは、極楽寺山や福王寺山などのように社叢林として保護されている場所や、灰ヶ峰と膳棚山のように山頂部より低い位置の平坦部であり、これらも土壤湿度が高い場所である。このように自生地が限定

される理由として、広島県では花崗岩が風化してできた砂質土壌と乾燥した瀬戸内海気候が大部分を占めるため、森林が伐採された所では生育条件の悪化により生存できなくなったと考えられる。

ミヤコアオイは県東部と北部の広い地域に分布し、サンヨウアオイは南西部の瀬戸内沿岸部に分布する (Fig. 4)。両種のこの分布傾向は日浦 (1978)、楡山・山手 (1984) が示したものとおよそ一致する。

両種の明瞭な分布境界が広島市北西部から佐伯郡部にかけて見られる。すなわち、広島市の福王寺山と佐伯郡の極楽寺山を結ぶ山塊にサンヨウアオイが分布し、それ以北の山塊にミヤコアオイが分布する。

なお、佐東町八木に見られるミヤコアオイは太田

Table 1. Localities of genus *Heterotropa* in Hiroshima prefecture.

<i>H. hexaloba</i>	<i>H. aspera</i>
広島市西区己斐町	広島市安佐南区沼田町阿戸
◇ 東区安芸町馬木	◇ 安佐北区佐東町八木
◇ 安佐南区沼田町阿戸	◇ 可部町南原峽
◇ 安佐北区可部町福王寺山	◇ 可部町大林
◇ 安佐町三国	◇ 安佐町牛頭山
◇ 安佐町後山	◇ 安佐町瀬谷
◇ 安芸区矢野町絵下山	◇ 白木町大槌
大竹市玖波	◇ 白木町志路
呉 市灰ヶ峰	三次市板崎
◇ 膳棚山	佐伯郡湯来町矢神原
佐伯郡宮島町	◇ 恵下
◇ 廿日市町明石	◇ 佐伯町岩倉
◇ 極楽寺山	◇ 所山
◇ 五日市町倉重	◇ 吉和村汐原
◇ 魚切	山県郡筒賀村念仏谷
◇ 湯来町川角	◇ 芸北町八幡
安芸郡府中町水分峽	高田郡八千代町上佐々井
◇ 倉橋町宇和木	◇ 高宮町西原
	賀茂郡河内町用倉山
	世羅郡世羅西町小国
	双三郡作木村常清滝
	◇ 君田村森原
	比婆郡口和町常定
<i>H. sp.</i>	
山県郡芸北町八幡	
賀茂郡河内町椋梨川	
比婆郡東城町帝釈峽	

川上流域より流れてきたものと推定される。また、岡山塊の谷部にあたる沼田町の社叢林では両種が混生しているが、これは本来の分布境界の接点にあたるのか、それとも土砂や樹木とともに一方の種が人為的に移動したのか不明である。

種名不詳の1種は形態上はミチノクサイシンと思われるが、従来知られている分布域とは明らかに一致せず、また、県内における産地も相互に隔った3地点に分布するだけである。このように本種は分類学的、生態学的に不明な部分が残されており、今後の研究に待たなければならない。

Summary

The distribution of the three species of *Heterotropa* was examined in 43 places in Hiroshima

prefecture.

H. hexaloba was distributed in the southwestern part of Hiroshima prefecture. *H. aspera* was distributed widely in the northern and eastern part of Hiroshima prefecture.

H. sp., which was similar to *H. fauriei*, was found in the three places.

参 考 文 献

- 日浦 勇 (1978) 蝶のきた道. 蒼樹書房, 東京.
 桧山 智・山手万知子 (1984) 広島県におけるカンアオイ属2種の分布. *Hikobia* 9 : 147—153.
 大井次三郎 (1978) 増補改訂版日本植物誌. 至文堂, 東京.